

サマリー

2013 年上半期 LNG 業界 10 大トピックス

橋本裕*、福岡誠史**、岡村雅史***、居石裕幸***、堀池茂和***

2013 年上半期の LNG 業界を振り返ると、高価格が引き続き日本の買主・経済に大きな負担をかけ続ける一方で、中長期的な LNG 調達面では、米国からの LNG 輸出プロジェクト 1 件に非 FTA 向け許可が発行され、そのほか各地の新規 LNG 輸出プロジェクトに前進が見られた。また世界各地でいくつかの LNG 輸入基地が稼働開始したことも合わせ、世界 LNG 市場の構造変化が進行している。さらにこうした構造変化を反映するいくつかの統計数字も観察された。

本稿では、以下の 10 項目に関して、概要を示す。

1. 米国連邦エネルギー省 (DOE) が Freeport LNG に対し非 FTA 締結国への輸出を許可
2. 引き続き LNG 高価格が日本経済、輸入各社に大きな負担
3. 2012 年の世界 LNG 貿易量が 2% 減少、天然ガス市場は 2% 拡大
4. カナダ太平洋岸 LNG 輸出構想進む
5. ロシア、LNG 輸出自由化の可能性と新規輸出プロジェクト構想
6. 豪州の LNG プロジェクトにコスト高の影響、浮体 LNG (FLNG) 前進
7. エジプト、ナイジェリア、ノルウェーで LNG 生産が減少、一方アルジェリア、アングラの新規生産設備稼働開始
8. モザンビークで LNG プロジェクトが進行
9. シンガポール、マレーシア、イスラエル、インドで新規 LNG 輸入基地稼働
10. ブラジル、アルゼンチン、メキシコで LNG 短期購入活発化

お問い合わせ：report@tky.ieej.or.jp

* (一財)日本エネルギー経済研究所 化石エネルギー・電力ユニット ガスグループ 研究主幹

** 同 主任研究員

*** 同 研究員